

<ご参考>

2008年9月29日

環境規制の高まりによる需要拡大に対応
フッ素化学工場「ダイキンアメリカ社」E T F Eの生産能力を倍増
～自動車や航空機等の電線被膜材などに使用～

ダイキン工業株式会社は、100%出資の子会社「ダイキンアメリカ社」(本社:ニューヨーク州オレンジバーグ)のディケーター工場(アラバマ州)で、熱溶融性フッ素樹脂『E T F E^{※1}』の設備を増強し、生産能力を倍増することを決定しました。2010年4月下旬より稼動する計画で、設備投資額は約70億円を予定しています。

この増強により、当社のグローバルでのE T F E生産能力は、日本の淀川製作所(大阪府摂津市)とあわせて従来比2倍となります。今後は、E T F Eの特長を生かした用途開発により、現在の50億円から2010年には100億円の販売を目指します。

『E T F E』は、フッ素樹脂の特長である電気絶縁性・耐熱性・耐薬品性に加えて、加工が容易で柔軟性や透明性に優れています。特に世界最大市場の米国では、環境規制の強化により自動車の燃料チューブなどの用途で需要が急拡大しています。環境対応としてはほかに、主に自動車や航空機などで使う電線の被覆材や液体搬送用パイプ、また建築外装用のフィルムなどに採用されて、過去数年で需要が急増し、世界的に供給が追いつかない状況となっています。

E T F Eの世界需要の50%は米国であり、最大の需要地で唯一工場をもつ当社は、E T F Eの生産能力を増強することで、逼迫する需要に対応する供給体制を整えます。

当社の米国でのフッ素化学事業は、代表的なフッ素樹脂であるF E P^{※2}やP T F E^{※3}、またフッ素系撥水撥油材として事業基盤を確立しておりますが、E T F Eを第4の重点商品として位置付け、事業の拡大を図ります。

※1 E T F Eの正式名: Copolymer of ethylene and tetrafluoroethylen

(エチレンテトラフルオロエチレンコポリマー)

※2 F E Pの正式名と用途: Copolymer of tetrafluoroethylene and hexafluoropropylene

(パーフルオロエチレンパーフルオロプロピレンコポリマー)

主に、LANケーブルや携帯電話などに被覆材として使用

※3 P T F Eの正式名と用途: Polytetrafluoroethylene (ポリテトラフルオロエチレン)

主に、ガスケットやパッキンなどに使用